平成27年度



鹿 児 島 県 立 鹿児島聾学校

進路だより

平成 27 年 12 月 9 日

発行 進路指導部

文責 内田 正博

寒い日が続いていますが、保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、遅くなりましたが「進路だより」第2号を発行します。

今回は、主に福祉就労に関して掲載しています。将来の進路に向けて活用いただければありがたいです。なお、御不明な点があれば進路指導部へお尋ねください。

福祉サービスの種類と内容

介 護 給 付	居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の支援、通院介助等を行い ます。
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴・排せつ・食事の介護、外出時における移動支援などを総合的に行います。
	行動援護	障害により行動上著しい困難がある人に,危険を回避するために必要な支援,外出支 援を行います。
	同行援護	視覚障害により移動に著しい困難がある人に、外出時において同行し、必要な情報提供、援護、介護等を行います。
	重度障害者等包括支援	介護の必要性がとても高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行います。
	短期入所 (ショートステイ)	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴・排せつ・食事の介護等を行います。
	療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理・看護・介護及 び日常生活の世話を行います。
	生活介護	常に介護を必要とする人に, 昼間に, 入浴・排せつ・食事の介護等を行うとともに, 創作 的活動又は生産活動の機会を提供します。
	施設入所支援	施設に入所する人に,夜間や休日に,入浴・排せつ・食事の介護等を行います。
訓練等給付	自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活又は社会生活ができるよう,一定期間,身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行います。
	就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に,一定期間,就労に必要な知識及び能力の向上 のために必要な訓練を行います。
	就労継続支援(A型=雇用型、 B=非雇用型)	一般企業等への就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上の ために必要な訓練を行います。
	共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日に, 共同生活を行う住居で, 相談や日常生活上の援助を行うとともに, 必要に応じて, 入浴・排せつ・食事の介護等を行います。

※ 赤:訪問系サービス, 青:日中活動系サービス, 黄:居住系サービス

本校卒業生の福祉就労の大半が、A型、B型就労継続支援事業所です。

福祉サービスから一般就労へ

就労支援施策の対象となる障害者数/地域の流れ

障害者総数約744万人中、18歳~64歳の在宅者の方、約332万人 (内訳:身124万人 知27万人、精181万人)

①特別支援学校から一般企業への就職が約24.3% 障害福祉サービスが約64.7% ・般就労への ② 障害福祉サービスから一般企業への就職が<mark>年間 1.3%(H15) → 3.6%(H23)</mark> 移行の現状 就労系障害福祉サービス から一般就労への移行 障害福祉サービス(就労系) 企業等 1,288 J/HI5 1.0 2,460人/HI8 1.9倍 就労移行支援 約 1.6万人 3,293人/H21 2.6倍 就労継続支援A型、福祉工場 約 1.3万人 4,403人/H22 <u>3.4倍</u> ·就労継続支援B型、旧法授産施設 約12.9万人 5,675人/H23 4.4倍 (平成23年10月) 地域 ローワークからの 紹介就職件数 就 職 生活 59,367人 小規模作業所 約0.6万人(平成24年4月) 地域活動支援センター (平成23年度) 916人/年 **11,801人/**年 4.420人/年 就職 特別支援学校

<u>卒業生17,707人/年</u> (平成24年3月辛)

- ◆特別支援学校からの一般就労は、約24.3%で全体の 1/4 である。
- ◆福祉サービスからの一般就労は、1~3%程度であり、厳しい状況である。

A 型事業と B 型事業の主たる違いは雇用契約の有無、つまり事業者と利用者の雇用関係が成立しているかいないかという点です。ただし、工賃は A 型にも B 型にも支払われます。

近年の本校の福祉就労への進路状況

年度	事業所名(場所)	主な作業内容	種別
26	ぶどうの木(鹿児島市)	手芸品制作・販売	B型
26	あすくーる入来(薩摩川内市)	食品加工	B型
25	ゆいの光 (姶良市)	商品袋詰め	A型
24	アイテラス(いちき串木野市)	飲食	就労移行支援
24	にしべっぷの里(鹿児島市)	印刷,軽作業,洗濯作業等	B型

これまでは、食品加工や商品袋詰め等の作業内容が多かったのですが、パソコン作業などの商品管理や検品などの作業を行う 新規事業所なども開設され、幅広い選択が可能になりつつあります。

『就労支援ネットワーク会議』から

7月10日(金)に企業関係者〔(株)ホンダさつま、(有)グレイス企画〕を招いて開催しました。本校の卒業生は、仕事に真摯に向き合いよく頑張っているとのことでした。また、「障害者を雇用することで周りの社員の意識も変わり会社が活性化した」などうれしい話を聞くことも出来ました。学校で身に付けてほしいことは、『あいさつや返事』など基本的生活習慣が大切である。また接客業では『笑顔を絶やさないこと』など、日頃から大切にすべき内容でした。最後に、これからも積極的に採用したいという言葉をいただき、今後に期待の持てる有意義な会議になりました。

『講演会のお知らせ』

年が明けて1月29日(金) 14:00~「特別支援学校・スキルアップ推進事業」における 講演会を開催いたします。株式会社デンソー(愛知県、自動車部品)に勤務している本校卒業生 と人事担当者を招いて「働くことを考える」と題して講演をしていただきます。子供たちの将来 の進路選択や御家庭での進路指導に役立つ内容だと思います。たくさんの御参加をお待ちしてい ます。なお、今回の参加対象者は中学部、高等部生徒・職員及び小学部、中学部、高等部の保護 者です。詳しい案内は、後日配布します。

